

②登録取消(返金なし)

履修登録した科目を授業開始後に取り消す場合、以下の期間に取消しが認められますが、受講料は返金されません。

4月13日(金)～4月24日(火)24:00(日本標準時間)

③手続方法

Web画面(kcc-channel)で取り消してください。

kcc-channelの「スクーリング」メニューから申込画面にアクセスしてください。

「スクーリング」→「申込・照会・取消」→「スクーリング履修申告」→「履修取消」

*取消期間中はkcc-channel上で何度でも修正できますが、取り消した科目を取消期間後に復活させることはできません。

④注意事項

取消期間中に、新たな科目を履修申告することはできません。

決められた取消期間内に手続をせず、自ら履修を放棄した場合は、D評価(GP = 0.0)となり、GPAの値に影響を及ぼしてしまいます(『塾生ガイド2017』pp.50-51参照)。

10 講義要綱

放送英語(リーディング)18(1単位) 担当者:医学部准教授 小町谷 尚子

■授業内容

世界の各地で愛読され、日本でもよく知られている、19世紀から20世紀の作家たちの短編小説を数編読みます。短編小説には、現実社会の様相を鮮やかに照らし出すものもあれば、辛辣な人間批判やユーモアにあふれたものもあります。そうした作品を読むことは多様な価値観をもつ人々の思考について考える際の糧になるでしょう。取り組み方ですが、筋を追うだけでなく、どう読むかが大事です。英語から日本語への置き換えに終始せず、英語そのものの理解を深めるように努めましょう。各作家の巧みな言葉遣いを味わいながら、作品を原文で読む喜びを分かち合いましょう。

■テキスト

Ernest Hemingwayほか著、安永義夫編『英米短編集V *Breakfast and Other Stories*』金星堂、本体800円+税

■参考書

以下の参考書をレポート執筆時の参考にしてください。

慶應義塾大学教養研究センター監修『学生による学生のためのダメレポート脱出法』慶應義塾大学出版会

■学生への学習上の心構え・履修上の要望

文学作品を読み解きながら、同時に英語力を養うことが目標です。原文を読む際に日本語訳を参照することは構いませんが、それでは十分な鑑賞ができませんし、英語の勉強に

なりません。基本的な文法事項や言葉の意味の奥深さを確認しながら、作品の展開を理解するよう努めましょう。放送を聴く前に予習をして、わからない箇所をチェックしておきましょう。そうすると、放送を聴いたときに理解が深まります。

2018年度のリーディングで取り上げる作品は、*A Day's Wait* by Ernest Hemingway, *The Canary* by Katherine Mansfield, *The Story-Teller* by Saki, *Breakfast* by John Steinbeck, *Josephine* by Liam O'Flahertyです。10か月の授業後にはテキストに収められている他の作品も“原文で”読んでみようという気持ちになると思います。

評価は、2回の定期試験を受験し、レポートを提出した方を対象とします。どれかひとつでも欠けている場合は評価の対象とはなりませんので、注意してください。

■**授業スケジュール**(授業の進行によって変更する可能性があります。)

第1回～第5回 *A Day's Wait*

第6回～第12回 *The Canary*

第13回～第22回 *The Story-Teller*

第23回～第27回 *Breakfast*

第28回～第41回 *Josephine*

途中の一回の放送を10月の科目試験の講評と解説にあてます。

第42回 10月のレポートの講評と解説

■**成績評価方法**

上に書いたとおり、レポート提出1回、前半(10月科目試験)・後半(翌年4月科目試験)の2回の科目試験の総合評価です。必ずレポートを提出し、2回の試験を受けてください。この3つがそろることが評価の条件です。レポートの提出は必ず所定の手続に従ってください。

■講義内容

回数	内容	回数	内容
第1回	はじめに	第22回	対照のサポート文の書き方(1)
第2回	英語ライティングの基本	第23回	対照のサポート文の書き方(2)
第3回	英語ライティングのための辞書の話	第24回	対照のサポート文の書き方(3)
第4回	英語ライティングのためのリソースの話	第25回	説明のサポート文の書き方(1)
第5回	パラグラフライティングの基礎(1)	第26回	説明のサポート文の書き方(2)
第6回	パラグラフライティングの基礎(2)	第27回	説明のサポート文の書き方(3)
第7回	トピック文の書き方(1)	第28回	説明のサポート文の書き方(4)
第8回	トピック文の書き方(2)	第29回	結論文の書き方(1)
第9回	トピック文の書き方(3)	第30回	結論文の書き方(2)
第10回	トピック文の書き方(4)	第31回	結論文の書き方(3)
第11回	例証のサポート文の書き方(1)	第32回	パラグラフのまとまりをつくる(1)
第12回	例証のサポート文の書き方(2)	第33回	パラグラフのまとまりをつくる(2)
第13回	例証のサポート文の書き方(3)	第34回	パラグラフのまとまりをつくる(3)
第14回	例証のサポート文の書き方(4)	第35回	パラグラフのまとまりをつくる(4)
第15回	時系列のサポート文の書き方(1)	第36回	パラグラフからエッセイへ(1)
第16回	時系列のサポート文の書き方(2)	第37回	パラグラフからエッセイへ(2)
第17回	時系列のサポート文の書き方(3)	第38回	パラグラフからエッセイへ(3)
第18回	時系列のサポート文の書き方(4)	第39回	パラグラフからエッセイへ(4)
第19回	比較のサポート文の書き方(1)	第40回	レポート講評(1)
第20回	比較のサポート文の書き方(2)	第41回	レポート講評(2)
第21回	比較のサポート文の書き方(3)	第42回	まとめ

■テキスト

井上逸兵『パラグラフは英語プレゼンの基本—世界でいちばんシンプルなアカデミックライティング教本【改訂版】』同学社、2018年2月下旬刊行予定、本体1,800円+税

■参考文献

必要に応じて授業中、およびサイトにて指示する。

■学生に対する受講上の要望または受講上の前提条件

英語のパラグラフライティングは英語の広義のプレゼンの基本でもあります。そのエッセンスを理解し、実際に使えるようにしましょう。英作文としては、練習する英語そのものはそんなに難しくありませんが、書くにしても話すにしても定着して使いこなせるようになりましょう。

■成績評価方法

レポート提出1回、前半・後半2回の科目試験の総合評価

■講義内容

はじめてドイツ語を学ぶ方を対象に、ドイツ語文法の基礎を解説します。ドイツ語のアルファベットの読み方と発音からはじめ、ドイツ語文法の基本的な仕組みを理解できるように説明します。「放送ドイツ語(初級前期)18」では、テキスト(大谷弘道・Ursula Otani著『CD [MP3]付き 問いかけるドイツ語(新版)初級表現トレーニング』三修社)の前半部を解説します。

回数	内容	回数	内容	回数	内容
第1回	Das Alphabet	第15回	Lektion 2 (4)	第29回	Lektion 5 (4)
第2回	発音 Stufe 1 (1)	第16回	Lektion 3 (1)	第30回	Lektion 5 (5)
第3回	発音 Stufe 1 (2)	第17回	Lektion 3 (2)	第31回	Lektion 6 (1)
第4回	発音 Stufe 1 (3)	第18回	Lektion 3 (3)	第32回	Lektion 6 (2)
第5回	発音 Stufe 1 (4)	第19回	Lektion 3 (4)	第33回	Lektion 6 (3)
第6回	Lektion 1 (1)	第20回	Lektion 4 (1)	第34回	Lektion 6 (4)
第7回	Lektion 1 (2)	第21回	Lektion 4 (2)	第35回	Lektion 7 (1)
第8回	Lektion 1 (3)	第22回	Lektion 4 (3)	第36回	Lektion 7 (2)
第9回	Lektion 1 (4)	第23回	Lektion 4 (4)	第37回	Lektion 7 (3)
第10回	発音 Stufe 2 (1)	第24回	数詞(1)	第38回	Lektion 7 (4)
第11回	発音 Stufe 2 (2)	第25回	数詞(2)	第39回	Lektion 7 (5)・よく使われる便利表現
第12回	Lektion 2 (1)	第26回	Lektion 5 (1)	第40回	ドイツ語の音と復習
第13回	Lektion 2 (2)	第27回	Lektion 5 (2)	第41回	基礎動詞の表現(1)
第14回	Lektion 2 (3)	第28回	Lektion 5 (3)	第42回	基礎動詞の表現(2)

■テキスト

大谷弘道・Ursula Otani著『CD [MP3]付き 問いかけるドイツ語(新版)初級表現トレーニング』三修社、本体2,600円+税

■参考文献

常木実著『標準ドイツ語』郁文堂、本体2,500円+税(テキストのほかにさらに勉強したい方のために)

■学生への学習上の心構え・履修上の要望

外国語は、正しく聞くことができてこそ、正しく話す、書く、そして読むことも可能となります。教科書付属のCDを十分に活用してください。

■成績評価方法

レポート提出1回、前半試験(10月科目試験)、後半試験(翌年4月科目試験)による総合評価とします。

■講義内容

「放送ドイツ語(初級前期)」を修了した方を対象に、ドイツ語文法の基本的な仕組みを理解できるように説明します。「放送ドイツ語(初級後期) 18」では、テキスト(大谷弘道・Ursula Otani著『CD [MP3]付き 問いかけるドイツ語〔新版〕初級表現トレーニング』三修社)の後半部を解説します。

回数	内容	回数	内容	回数	内容
第1回	Lektion 8 (1)	第15回	Lektion 10 (5)	第29回	Lektion 13 (4)
第2回	Lektion 8 (2)	第16回	Lektion 11 (1)	第30回	Lektion 14 (1)
第3回	Lektion 8 (3)	第17回	Lektion 11 (2)	第31回	Lektion 14 (2)
第4回	Lektion 8 (4)	第18回	Lektion 11 (3)	第32回	Lektion 14 (3)
第5回	Lektion 8 (5)	第19回	Lektion 11 (4)	第33回	Lektion 14 (4)
第6回	Lektion 9 (1)	第20回	Lektion 11 (5)	第34回	Lektion 14 (5)
第7回	Lektion 9 (2)	第21回	Lektion 12 (1)	第35回	Lektion 15 (1)
第8回	Lektion 9 (3)	第22回	Lektion 12 (2)	第36回	Lektion 15 (2)
第9回	Lektion 9 (4)	第23回	Lektion 12 (3)	第37回	Lektion 15 (3)
第10回	Lektion 9 (5)	第24回	Lektion 12 (4)	第38回	Lektion 15 (4)
第11回	Lektion 10 (1)	第25回	Lektion 12 (5)	第39回	数詞
第12回	Lektion 10 (2)	第26回	Lektion 13 (1)	第40回	数詞・時刻の表現
第13回	Lektion 10 (3)	第27回	Lektion 13 (2)	第41回	月名・季節・曜日、文法補足
第14回	Lektion 10 (4)	第28回	Lektion 13 (3)	第42回	文法補足

■テキスト

大谷弘道・Ursula Otani著『CD [MP3]付き 問いかけるドイツ語〔新版〕初級表現トレーニング』三修社、本体2,600円+税

■参考文献

常木実著『標準ドイツ語』郁文堂、本体2,500円+税(テキストの他にさらに勉強したい方のために)

■学生への学習上の心構え・履修上の要望

外国語は、正しく聞くことができこそ、正しく話す、書く、そして読むことも可能となります。教科書付属のCDを十分に活用してください。

■成績評価方法

レポート提出1回、前半試験(10月科目試験)、後半試験(翌年4月科目試験)による総合評価とします。

■講義内容

フランス語の基礎文法を、例文を参考に解説します。一年間で基本的な文法事項を学びます。

回数	内容	回数	内容
第1回	第0課 綴り字と発音	第22回	第9課 代名動詞1
第2回	第0課 挨拶	第23回	第9課 代名動詞2
第3回	第1課 名詞の性・数	第24回	第10課 単純未来
第4回	第1課 主語代名詞	第25回	第10課 比較級、最上級
第5回	第2課 第一群規則動詞	第26回	第11課 複合過去1
第6回	第2課 不定冠詞、提示表現	第27回	第11課 複合過去2
第7回	第2課 形容詞1	第28回	第11課 中性代名詞en
第8回	第3課 avoir	第29回	第12課 半過去
第9回	第3課 疑問文	第30回	第12課 複合過去と半過去
第10回	第3課 avoirの表現、強勢形	第31回	第12課 中性代名詞y,le
第11回	第4課 所有形容詞	第32回	第13課 関係代名詞
第12回	第4課 aller国名	第33回	第13課 強調構文
第13回	第5課 部分冠詞、近接未来、近接過去	第34回	第14課 条件法現在1
第14回	第5課 疑問代名詞	第35回	第14課 条件法現在2
第15回	第5課 pouvoir選択の疑問代名詞	第36回	第15課 現在分詞、ジェロンディフ
第16回	第6課 疑問副詞	第37回	第15課 受動態
第17回	第6課 命令文	第38回	第16課 接続法現在1
第18回	第7課 形容詞2	第39回	第16課 接続法現在2
第19回	第7課 数量savoir	第40回	補遺 前未来
第20回	第8課 目的補語人称代名詞	第41回	補遺 間説話法
第21回	第8課 非人称構文	第42回	補遺 数詞

■テキスト

田辺保子、西部由里子著『ヴァズィ！【改訂版】(CD付)』駿河台出版社、2018年3月初旬刊行予定、本体2,500円＋税 ISBN 978-4-411-01130-5

■参考文献

各種仏和辞典

■学生への学習上の心構え・履修上の要望

フランス語を初めて学ぶ方のための講座です。予備知識は必要ありません。教科書付属のCDを活用し、授業で解説した例文を口に出して言えるよう、暗記することを心がけてください。

■成績評価方法

レポート提出1回、前半・後半2回の科目試験による総合評価

■講義内容

フランスの現代社会について解説する文章を読むことによって、フランスに対する理解とフランス語文法の理解を深めることを目的とする。

回数	内容	回数	内容	回数	内容
第1回	第1課	第15回	第10課(1)	第29回	第17課(1)
第2回	第2課	第16回	第10課(2)	第30回	第17課(2)
第3回	第3課	第17回	第11課(1)	第31回	第18課(1)
第4回	第4課	第18回	第11課(2)	第32回	第18課(2)
第5回	第5課(1)	第19回	第12課(1)	第33回	第19課(1)
第6回	第5課(2)	第20回	第12課(2)	第34回	第19課(2)
第7回	第6課(1)	第21回	第13課(1)	第35回	第20課(1)
第8回	第6課(2)	第22回	第13課(2)	第36回	第20課(2)
第9回	第7課(1)	第23回	第14課(1)	第37回	補遺1(1)
第10回	第7課(2)	第24回	第14課(2)	第38回	補遺1(2)
第11回	第8課(1)	第25回	第15課(1)	第39回	補遺2(1)
第12回	第8課(2)	第26回	第15課(2)	第40回	補遺2(2)
第13回	第9課(1)	第27回	第16課(1)	第41回	補遺3(1)
第14回	第9課(2)	第28回	第16課(2)	第42回	補遺3(2)

■テキスト

クリスチャン・ボームルー、大津俊克、藤井宏尚『フランスさまざま—Variétés françaises』朝日出版社、本体1,800円+税

■学生への学習上の心構え・履修上の要望

フランス語の初級文法をひとつお終えていることが受講条件になります。授業を聞く前に、それぞれ単語を調べて予習をしておくとう理解が深まります。

■成績評価方法

レポート提出1回、前半・後半2回の科目試験の内容を総合的に判断し成績評価をします。